

日時：2010年5月15日（金）13：00～16：00

場所：東京富士大学本館4階第3会議室

日本パーソナリティ心理学会第96回常任理事会議事録

出席：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、小塩真司、向田久美子、中村真、山崎晴美、渡邊芳之、松田英子、荒川歩（学会活性化副委員長・藤田主一委員長代理）、安藤寿康（大会主催校）

欠席：二宮克美

事務局長：加藤司

報告事項

I 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊芳之担当常任理事）

(1) 「パーソナリティ研究」の発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第18巻の発行状況について

平成21年7月に第1号、平成22年1月に第2号、3月に第3号を発行した

掲載論文は原著4本、資料11本、展望3本、ショートレポート13本の合計31本である

2) 「パーソナリティ研究」第19巻1号の発行状況について

「パーソナリティ研究」第19巻1号は3月末に掲載論文を決定し入稿、現在和文校閲が終了して著者校正の準備中である。原著3本、資料1本、展望1本、ショートレポート6本の計11本である。

掲載番号	審査番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
19-1-1	A-202E	原著	人はいつ「性格」概念を必要とするのか：ブログにおける「性格」への言及の分類	荒川歩	2008.10.28	2010.1.22
19-1-2	A-215E	原著	反芻に対する肯定的信念と反芻・省察	高野慶輔	2009.6.5	2010.2.14
19-1-3	A-205E	原著	異文化環境における民族アイデンティティの役割	植松 晃子	2009.2.18	2010.2.24
19-1-4	B-51E	資料	Cloningerの気質4次元と自己志向的完全主義との関連	中川明仁	2009.4.1	2010.3.16
19-1-5	R-04E	展望	協調性とその起源	登張 真穂	2008.6.2	2010.2.5
19-1-6	S-157E	ショートレポート	潜在的自尊心と自己愛傾向との関連	川崎直樹	2009.5.20	2010.1.22
19-1-7	S-149E	ショートレポート	一般青年の解離傾向とアグレッションの関連について	吉住隆弘	2009.2.4	2010.1.22
19-1-8	S-158E	ショートレポート	抑うつ行動理論の基づく快活動報告と気分との関係	伊藤 直	2009.6.10	2010.2.5
19-1-9	S-155E	ショートレポート	日本語版抑うつ状態チェックリストの改訂	長谷川晃	2009.4.21	2010.2.5
19-1-10	S-160	ショートレポート	愛着の四類型から見た感情抑制	永井 智	2009.7.14	2010.2.14
19-1-11	S-156E	ショートレポート	社会的自己制御とBIS/BAS・Effortful Controlによる問題行動の弁別的予測性	原田知佳	2009.5.8	2010.3.1

3) 各号の発行時期について

*1号を7月、2号を11月、3号を3月発行とするのが適当と思われる。

(2) 「パーソナリティ研究」の編集状況について

1) 「パーソナリティ研究」第19巻2号以降の編集状況

採択論文は、資料3本、ショートレポート2本の計5本、採択に向けて投票中が原著1本、修正採択修正中が2本であり、11月の発行を目指し、8月頃の掲載論文決定を目指したい。

(3) 投稿状況について

(4) 審査状況について

*採択率は6割弱である。

(5) その他

1) 論文種別の見直しについて

*原著と資料の区別の廃止に関する論文種別の見直しについて、昨年11月大会時の拡大編集委員会で提案し、編集委員会内に検討グループ（村井氏を予定）を作成し検討を継続する。

2) 科学研究費申請について

①平成22年度 科学研究費の交付内定について

②第18巻第1号の発行時期について

発行時期が3か月早く発行になった件について、慎重に審議を行った。発行時期について、定期的に発行することが承認され、理事長、編集委員長、事務局長が責任をもって、状況を把握、管理することが承認された。

2 経常的研究交流委員会（代理：理事長）

(1) 一般公開企画について

経常的研究交流委員会・放送大学東京多摩学習センター（共催）

『子どものパーソナリティと教育』

日時：2010年3月21日（日） 14：00～17：00

場所：放送大学東京多摩学習センター 4F講義室

第一部 公開講演会（14：00～15：10）

講師 高見のっぽ氏（俳優・作家・歌手）

第二部 公開シンポジウム（15：30～17：00）

*当日の参加者 64名

*放送大学より取材が入った。15分の番組に編集され、「大学の窓」という放送大学で放送される。

『大学の窓』—シンポジウム・子どものパーソナリティと教育—

放送日：5月20日（木）、22日（土）、24日（月）、26日（水）

放送時間：12：45～13：00、19：45～20：00

(2) 委員構成について

委員長：二宮克美（愛知学院大学）

副委員長：森津太子（放送大学）

委員：中川明仁（同志社大学）、佐藤史緒（東洋大学）、薊理津子（聖心女子大学）、谷口淳一（帝塚山大学）、岡田有司（中央大学）、佐野綾子（早稲田大学）、天野陽一（首

都大学東京)、佐々木淳(大阪大学)、武田美亜(青山学院女子短期大学)、杉山佳菜子(愛知学院大学)

以上、承認された。

(3) 大会企画

*2つ企画している

ひとつは「生活習慣病に関わるパーソナリティ(仮)」

もうひとつは、現在企画中です。

3 広報委員会(小塩担当常任理事)

(1) 委員会メンバー構成(修正について)

~2010 大会まで

副委員長: 山田幸恵(岩手県立大学)、委員: 桑村幸恵(愛知学院大学)、大和田智文(関西福祉大学)、

~2011 大会まで

委員: 毛新華(大阪大学)、佐藤恵美(東京富士大学)、奥田雄一郎(前橋国際大学)

~2012 大会まで

副委員長: 家島明彦(島根大学)、委員: 木村文香(江戸川大学)、水野邦夫(帝塚山大学)、伊藤君男(東海学園大学)、市村(阿部)美帆(東洋大学)

上記の委員について承認された

(2) 活動報告

1) web サイトの更新

2) web サイトの修正

(3) 大会企画

タイトル案: 子どもたちの個人差を考える: 多面的なアプローチ(仮題)

(4) ヤングサイコロジストプログラムについて

日時: 2010年10月9日 15時~18時

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス

企画内容: 研究発表・講演「論文採択虎之巻ーこれから論文を書く若手会員のためにー」

4 国際交流委員会(向田担当常任理事)

(1) 英語論文の投稿について

*Roberts氏より、学会講演を原稿に起こす件について内諾を得た

(2) Bamberg氏のシンポジウム

日時: 2010年6月27日 午後1時~5時半

場所: 東京大学

主催: 日本質的心理学会・日本パーソナリティ心理学会

(3) 第19回大会におけるRoberts氏セミナー企画

テーマ: 遺伝から文化まで幅広くパーソナリティや適応を考える

話題提供者: 谷伊織氏(浜松医科大学)、山形伸二氏(慶應義塾大学)、平石界氏(京都大学)、菅知絵美氏(東京女子大学)

指定討論者：Brent W. Roberts 氏（イリノイ大学）

(4) "P"の原稿

サトウタツヤ氏による日本の性格心理学研究の歴史を5月中に投稿予定。

(5) 委員会構成

サトウタツヤ（立命館大学）、高木邦子（聖隷クリストファー大学）、高橋雄介（日本学術振興会・慶応義塾大学・イリノイ大学）、山形伸二（慶応義塾大学）、向田久美子（担当常任理事・委員長、駒沢女子短期大学）以上、承認された。

5 学会活性化委員会（荒川副委員長）

(1) 2009年度「大会発表賞」選考経過について

*前大会活性化委員会（川野健治委員長）より経緯報告があった。下記の4名の方が「大会発表賞」候補者として推薦され、承認された。

*澤田匡人（宇都宮大学教育学部）・葉山大地（筑波大学大学院人間科学総合研究科・日本学術振興会）

「シャーマンフロイドの喚起における復讐心と特性怒りの役割」

*倉住友恵（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

「学習しない理由が有する精神的健康との肯定的結びつきー子ども達は勉強しなくても元気に過ごせる？ー」

*服部陽介（名古屋大学大学院環境学研究科・日本学術振興会）・川口潤（名古屋大学）

「抑うつ者における思考抑制方略の有効性と侵入思考の関係」

*栗原愛（早稲田大学大学院人間科学研究科）・長谷川晃（早稲田大学大学院人間科学研究科）・根建金男（早稲田大学人間科学学術院）

「日本語版 Experience Questionnaire の作成と信頼性・妥当性の検討」

上記の業務を前委員会から現学会活性化委員会（委員長：藤田主一、副委員長：荒川歩、委員：堀毛一也、沢宮容子）が引き継ぎ、現委員会の承認を得て4名の方が推薦された。

(2) 2010年度「大会発表賞」の選考について

*問題点について、検討中であることが報告された。

6 各種電子化検討小委員会（中村担当常任理事）

(1) 会員向けアンケートの実施(案)について

目的：機関誌「パーソナリティ研究」の電子版への一本化ならびに紙媒体（印刷版）の廃止について検討するための予備的データを得るために会員向けアンケートを実施する。

方法：第19回大会に参加した一般会員および院生会員（非会員を除く）を対象に、第19回大会時に、実施する予定である。

II 日本心理学諸学会連合

1 日本心理学諸学会連合について（理事長）

これまで会議は開催されていない。

2 心理学検定試験について（松田委員）

本学会に関連する 20 問を作成し、提出した。

Ⅲ 第 19 回大会準備状況について（安藤大会準備委員長）

第一号通信を発行し、状況報告がなされた。

Ⅳ 事務局報告

1 新入会員について

以下、追認された。

一般会員：杉本英晴、藤井勉、野村亮太

院生会員：小浜駿、鍋倉正、竹内一真、小井美緒、岩本世津子

2 会勢報告

賛助会員 1 名、名誉会員 6 名、一般会員 555 名、院生会員 259 名、学生会員 5 名
計 826 名（4 月 31 日現在）

3 自動退会処分該当会員について

該当者 27 名が報告された。

Ⅴ その他

1 性格心理学ハンドブックの改訂について（堀家担当委員長）

現在、進行中である。

審議事項

1 2010 年度予算に関する件（代理：浮谷理事長）

予算案が別紙のとおり報告され、修正したものを Web の常任理事会で報告することになった。修正のうえ、承認された。

2 名誉会員推挙に関する件（事務局長）

継続審議することになった。

3 第 95 回常任理事会議事録承認に関する件（事務局長）

一部修正のうえ、承認された。

4 会員種別に関する件（事務局長）

研究生、オーバードクター、定職についていない会員の種別について検討した。今後も、検討することにする。

5 新入会員に関する件（事務局長）

一般会員：安達圭一郎、石黒明男、
院生会員：王戈、渡部雪子、久保田雅子、加賀紗知美、安井英美、田中充、菅知絵美、足立知子、徳永侑子、浜口直子、関屋祐希、佐伯直子、鷹阪龍太、草海由香里、中村敏健、神原歩
以上の会員が承認された

6 平成 22 年度の国際文献との契約に関する件（事務局長）

次年度との契約変更はなく、事前に、メールで検討をし、承認された。

7 その他

なし

次回は東洋大学にて、7月10日15:00からを予定